



# 神崎小だより

神崎町立神崎小学校  
学校だより 第 2号  
令和5年 5月 9日  
発行者 校長 塙一成

学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成  
めざす児童像：なかよく かしこく たくましく やりぬく おいしく  
合言葉：【笑顔（スマイル）】 【行動（フットワーク）】 【協力（サポート）】  
＜四つの徳：勤勉・親切・正直・勇氣＞

## 神崎小学校が創立150周年を迎えました

本校は、5月5日（金）に創立150周年を迎えました。創立記念日に先立ち、5月2日（火）に創立150周年記念式典を挙行し、たくさんのご来賓、保護者、地域の方々にご臨席を賜りました。また、式典を挙行するに当たり、神崎小学校創立150周年記念事業実行委員会の皆様には大変ご尽力をいただきました。本当にありがとうございました。

本校は、明治6年5月5日、神崎本宿にある永興寺客殿を仮校舎として誕生しました。開校当時の学区は大変広く、今の茨城県稲敷市や成田市の一部に当たる村も本校の学区であり、15の村から児童が通っていました。開校時の児童数は121名でしたが、明治34年には400名近くになり、この年に神崎小学校校舎が新築されました。児童数の増加に伴い、昭和38年には新たに2棟が増築されました。更に昭和43年に1棟、昭和45年に1棟が増築され、本校の校舎は第1校舎から第5校舎までとなりました。平成8年には鉄筋3階建ての立派な校舎が完成し、現在の場所に移転しました。

式典は3部構成で行い、第1部はセレモニー、第2部は記念コンサート、第3部はパネルディスカッションを行いました。第1部では、児童会が中心となって「神崎小の歴史〇×クイズ」を行い、大いに盛り上がりました。第2部では、神崎町出身でソプラノ歌手の安増寛美さんを始め3名の方による記念コンサートが行われました。本校校歌の作曲者でもある岡野貞一氏作曲の文部省唱歌「ふるさと」も披露していただきました。第3部では、「これからの神崎小学校に望むこと」というテーマでパネルディスカッションを行い、様々な立場の方の意見を聞くことができました。

創立150周年を迎え、改めて歴史の重さを感じると共に、今後も家庭・地域とのつながりを一層深め、保護者の皆様、地域の皆様と共に時代を担う子供たちを育てまいります。本校の教育の更なる充実・発展を目指し、職員一同邁進してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



森 実行委員長 挨拶



児童会役員の皆さん



神崎小の歴史〇×クイズ



記念コンサート



パネルディスカッション



記念キャラクター「こうこくん」

6年  
酒井愛莉さん  
考案